

# 大東市の英語教育

市は「子育てするなら、大都市よりも大東市。」のブランドメッセージを掲げ、教育環境の充実に取り組んでいます。今回は、学校における英語教育について紹介します。

よりリアルな  
英語に  
触れられる

## 「AET」による授業



「AET」とは Assistant English Teacher の略で「英語指導助手」のこと。英語を母語とする外国人が、学校の先生の助手として英語の発音や外国の文化を教えています。現在、大東市には10人のAETが配置されており、すべての公立小・中学校で英語の授業を支援しています。



### 南郷小学校 5年生の授業を紹介します

#### ① 授業は全て英語



授業中、デイビッド先生は日本語を話しません。この日はデイビッド先生自作の映像教材を使い、グループごとにわかれて2学期の復習を行いました。

#### ② 映像を見て考える



特定のアルファベットが何回出てきたかを数えます。グループごとの答えを黒板に記入します。

#### ④ グループで相談



turn left、go straightなどの指示通りに画面上の地図を進み、到着点を解答します。

グループで相談しながら、考えます。

#### ③ 英語を使って解答



映像教材のキャラクターがどこにいるかを、英語で答えます。正解が出ると教室内は盛り上がりました。

#### 生き生きと楽しみながら

グループ内で、リードして発言する人、じっくり考えて意見する人、まとめた意見を発表しに行く人など役割を分担し、皆で協力しながら、一人ひとりが生き生きと課題に取り組んでいました。また、親しみやすいオリジナル教材のおかげで、難しい問題や聞き取りにくい単語も楽しみながら学んでいました。先生が話す英語をすべて理解できていなくても、生徒たちはよく考えて課題を理解し、模索しながらも英語での伝え方を工夫していました。



先生に  
インタビュー!

## 楽しみながら英語を 好きになってほしい

デイビッド先生  
(南郷小、諸福中AET)



AETになって11年目です。子どもたちに英語を教えるために来日しました。

### やりがいを感じる時

掃除の時間など、授業以外の時間で子どもたちが英語でコミュニケーションをとってくれるとき、自然で楽しそうに話す様子を見てやりがいを感じます。

### 授業づくりのモットー

授業が「楽しい」だけで終わらないように子どもたちが「今日の授業でこんなことができるようになった」と思えるような授業にしたいと思っています。

### 気をつけていること

授業の中で子どもたちが間違えやすいフレーズなどは、担任の先生とどのように伝えるか相談し、AETがないときの授業でも同じように指導してもらうように心がけています。

中学生になると定期テストや入試などで、「テストのために英語を勉強する」となってしまうことが多いですが、英語でコミュニケーションをとることや、英語を覚えていくことを楽しんで、英語を好きになってほしいと思っています。

### より英語の力をつけるポイント

勉強しようとして取り組むよりも、映画や動画を英語の音声で見たり、ゲームの言葉を英語に設定したりすることです。自分が好きなことに英語を結びつけると自然と楽しみながら覚えていくことができるのでオススメです。



## 先生たちも学んでいます!

AETは授業の助手だけでなく、放課後は、ミーティングや研修会を行い、自身のスキルアップを図っています。

### …… AET ミーティング ……

市内のすべてのAETが定期的集まり、指導のしかたなどについて情報交換をしています。

▼ AET ミーティングのようす



### …… ディーププラス Deep + ……

小・中学校の先生を対象とした外国語指導力向上のための研修会では、AETも時には講師として、時には学習者として参加しています。



▲ Deep+のようす

検定料全額助成で、  
子どもの挑戦を  
バックアップ

ダイトウ イングリッシュトライアル

# 大東市版英語検定「DET」

## 受験の流れ

- Hop検定** 中学生全員がDETの説明を受け、希望者が申し込み
- ↓
- Step検定** 学校でプレテストを受験する  
※日本英語検定協会が作成した、英検IBAというプレテストに合格すると次へ進めます。受験料は市が負担します。
- ↓
- Jump検定** 英検本試験を各自で受験する



◀ Step検定の様子

「DET」とはDaito English Trialの略で、子どもたちの英語学習を支援するために導入された、英検の受験料を全額補助する制度です。

市立中学校に在籍し、次の①か②に該当する人

- ① 「Step 検定」を受験し、基準得点を満たす
- ② 対象級において、すでに一次試験を合格しており、二次試験の受験を希望する

無料で英検が  
受験できる！



## DET 導入後の

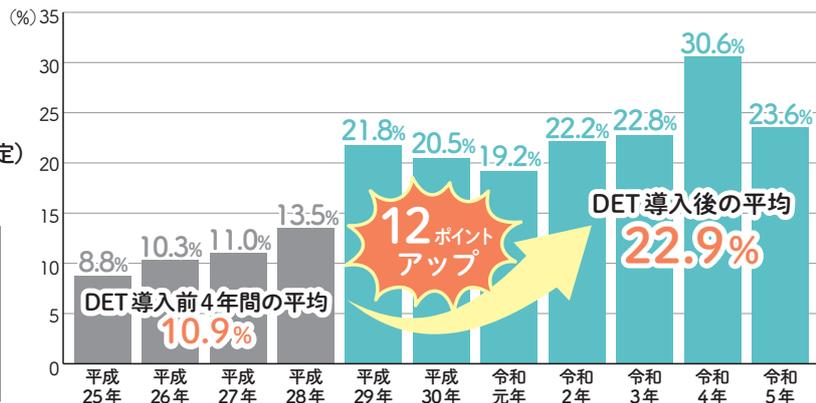
# 成果

令和5年度  
DETを活用した3級受験者(Jump検定)  
195人

1次試験合格者  
135人(合格率69.2%)

2次試験合格者  
122人(合格率62.6%)

## 市立中学校3年生 英検3級取得率が向上



## PICK UP 身近な場面で英語コミュニケーションを増やそう

身近なところで英語を自然に使えるようになれば、さらなる英語力の向上につながります。

### 就学前なら

ご家庭で英語の本を読み聞かせたり、簡単な英語の歌を一緒に歌ってみてはいかがでしょうか。



### 就学後なら

児童生徒が学校で学んでいる英語をご家庭で聞いてみたり、質問するなどしてコミュニケーションをとる機会を増やしてみてはいかがでしょうか。



## つどいの広場 みどり

### 英語遊び

これまでのイベントの様子は  
インスタグラムに  
掲載しています



MIDORI.OFFICIAL2005



時 3月21日(金) 午前10時20分～11時

所 わかば保育園 園10組

間 つどいの広場 みどり

☎807・5466

未就学児の  
英語イベントも  
あります♪



## DETは進化を続けています

制度開始から8年。この間、生徒のニーズに合わせてアップデートしてきました。

### ■対象学年を拡大

昨年度から、対象を中学3年生のみから全学年に拡大。在学中に、より高い級をめざせるようになりました。(令和5年度3級<中学卒業程度>助成195人のうち、中学1・2年生は112人)

### ■より実践的な形式に

Jump検定助成者の決定には、今年度から英検協会作成の英検IBAを活用しています。従来の市教育委員会作成のテストに比べ、より実践的なテストになりました。また、受験者全員に返却される個人成績表を元に、テストの振り返りも可能になりました。

### ■試験を受けやすく

今年度から土・日曜日など、受験者の予定に合わせて受けられるようになりました。また、1日で4技能(スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング)を受験できるため、受験者の負担軽減にもつながりました。

DETを活用して  
英検に合格!

## 将来は英語を教えられる人に

南郷中学校 2年 伊藤めぐみさん  
令和6年度 DET 3級受験(合格)



#### Q 受験しようと思った理由は?

A 以前から英検を受けようとは思っていましたが、学校でDETは無料で受験できると教えてもらい、受験することにしました。

#### Q どのような勉強をしましたか?

A 新しく知った文法や単語をノートなどに繰り返し書いて勉強し、過去問も3年分くらい解きました。スピーキングに向けて模擬スピーキングテストも受けました。

#### Q 今後、英語の力をどのように生かしていきたいですか?

A まずはネイティブの人と話せるようになって、ゆくゆくは誰かに英語を教えられる人になりたいです。もっと英語が上達するように、ホームステイなどみたいです。

#### Q 意識して取り組んでいることはありますか?

A **英語の授業**では  
AETの先生が話すときや、発音練習で流れる音声をよく聞き、単語のつながりまできれいに発音するために、舌の動きやアクセント、息つぎの部分などを意識しながら発音しています。発音の仕方がわからないときは、先生に教えてもらい、メモを取っています。また、英文を書くときは、声に出しながら書くようにしています。学校で借りているタブレットの外国語学習アプリを活用して予習することで、授業でしっかりと理解できるようにしています。

#### **授業以外**では

普段から遊びの延長で、姉と英語で話をしたりします。広告や看板など、身の回りにある英語で疑問に思った単語などは調べるように心掛け、ディズニーの名曲など、知っている曲を英語で練習して歌えるようになってから、歌詞を見て気になった単語を調べて覚えるようにしています。

小学校段階からスピーキングとリスニングを基礎とした授業づくりを始め、中学校ではさらにリーディング、ライティングの力を育成していきます。系統的な学びで「生きた英語力」の向上をめざします。また、「英検3級以上の合格率向上」のため、DETを継続させるとともに、定期的な教職員研修の実施などを通して、授業改善や家庭学習の改善に結びつけていきます。

☎ 指導・人権教育課 ☎ 870・9643

